

## 先週のマーケット動向(7月7日~7月11日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,362.7	1,377.5	1,361.7	1,375.4	+13.1
JPY/KRW	9.4190	9.4731	9.3317	9.3631	▲0.080
KOSPI	3,044.78	3,216.69	3,032.99	3,175.77	+121.49

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初ドル/ウォンは1,362.7ウォンでオープン。米国による相互関税の猶予期限到来が迫る中、交渉の進展が限定的であることからリスク回避の動きが拡大し、ドル/ウォンは堅調推移。その夜、米国から韓国への25%の関税適用が通告されたことで、翌8日には1,370ウォン台に上昇するも、交渉期限が3週間延長されたとの見方から安堵感も広がりその後は下落した。9日には米国が銅輸入に50%の関税を適用すると発表し、品目別の関税にも注目が集まる中、半導体に適用される関税率引き上げの可能性が懸念され再び1,370ウォン台に上昇。10日のBOK会合では2.50%の政策金利が維持され、総裁会見の内容も概ね事前予想の範囲内だったことで為替市場への影響は限定的だった。11日は米国がカナダへの35%の関税適用を発表し、その他多くの貿易相手国にも15%~20%の関税適用する意向であることが伝わると、関税を巡るリスクが再燃し、ドル/ウォンは底堅い推移が継続。結局、前週末比+13.1ウォンの1,375.4ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は米国の関税・インフレ指標など海外要因を材料としつつ、底堅い推移か。関税を巡っては市場も4月と比較して耐性ができており、ドル/ウォンが一段と急騰する展開は想定していないものの、米CPI等を受けて米早期利下げ期待が後退すると、下値がサポートされ底堅い推移が継続か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1360 ~ 1390	9.20 ~ 9.50	145.5 ~ 148.5

\* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



\* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 14日(月) 日 5月 鉱工業指数 確報値
- 日 5月 機械受注
- 中 6月 貿易収支
- 15日(火) 中 6月 小売売上高
- 中 6月 鉱工業生産
- 米 7月 NY連銀製造業指数
- 米 6月 CPI
- 中 2Q GDP
- 16日(水) 米 6月 鉱工業生産
- 韓 6月 失業率
- 米 6月 PPI
- 17日(木) 米 7月 失業保険新規申請者数
- 米 6月 小売売上高
- 欧 6月 CPI 確報値
- 日 6月 貿易統計
- 18日(金) 日 6月 CPI
- 米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 米 6月 住宅着工件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。